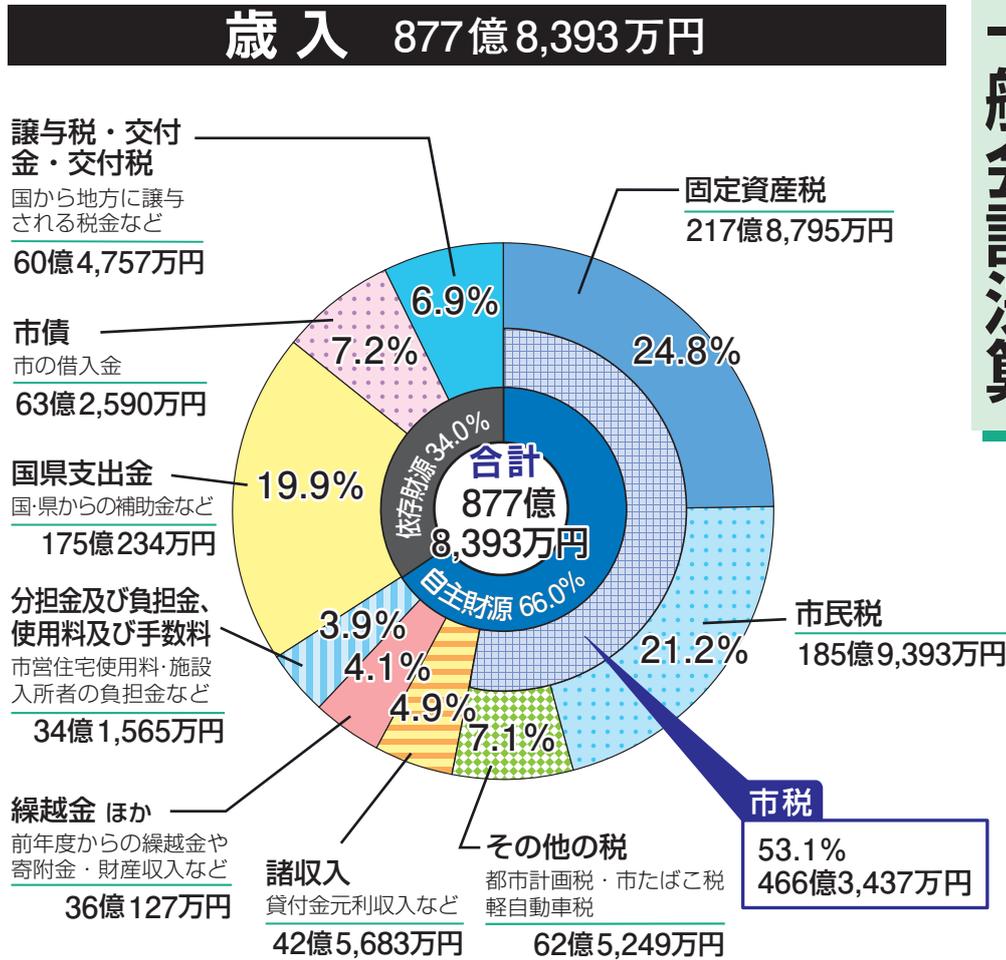


# 平成26年度 決算報告

皆さんの納めた税金が、この1年間でどのように使われたのかを確かめてみましょう。

## 一般会計決算



## 特別会計決算

歳入 512億943万円 / 歳出 501億4,974万円

富士市には18の特別会計がありますが、表中では財産管理特別会計(全11会計)を省略しています。

特別会計区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	283億2,664万円	277億4,642万円
後期高齢者医療事業	41億6,898万円	40億4,647万円
介護保険事業	168億845万円	165億9,445万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	7億2,685万円	7億2,115万円
第二東名IC周辺地区土地区画整理事業	7億9,601万円	7億8,396万円
駐車場事業	7,077万円	6,774万円
公共用地先行取得事業	9,761万円	9,761万円

## 企業会計決算

### 水道事業

事業収益合計  
29億1,134万円  
事業費用合計  
28億2,370万円  
純利益  
8,764万円

### 公共下水道事業

事業収益合計  
64億4,203万円  
事業費用合計  
51億7,107万円  
純利益  
12億7,096万円

### 病院事業

事業収益合計  
130億5,726万円  
事業費用合計  
168億1,940万円  
純損失  
-37億6,214万円

◆用語の説明◆

**歳入**

年度内に入ってきたお金

**歳出**

年度内に使ったお金

**自主財源**

市が独自に徴収することができるお金。市民税、固定資産税、使用料や手数料など

**依存財源**

国や県などから入ってくるお金。国庫支出金、県支出金、地方交付税、地方譲与税、地方消費税交付金、市債など

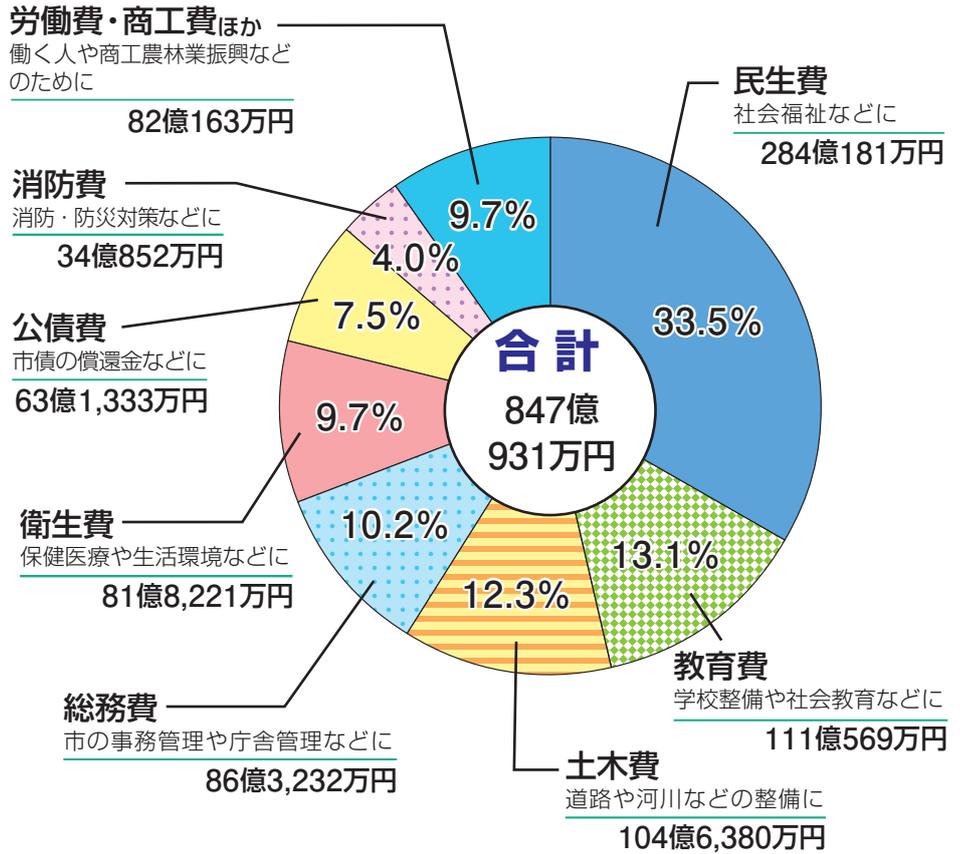
**国県支出金**

特定の事業の財源として、国や県から交付されるお金

**市債**

市が大きな建設事業などを行うために、国や銀行などから長期にわたって借りるお金

# 歳出 847億931万円



## 1か月の家計簿に置きかえると



支出	
食費 (市職員の人件費)	6万5,000円
医療費・介護サービス利用料 (医療費・生活保護などの扶助費)	7万2,000円
ローン返済 (市債の返済金である公債費)	2万9,000円
家や庭の大きな修繕・家財購入 (福祉施設・教育施設・道路・公園の整備などの投資的な経費)	7万2,000円
学費・光熱費・日用品 (施設管理の物件費・維持補修費など)	8万6,000円
子どもへの仕送り (特別会計・企業会計への繰出金など)	7万円
貯金 (積立金)	2,000円
<b>合計</b>	<b>39万6,000円</b>
余剰金 (収入－支出)	1万4,000円

収入	
給料 (市税・地方交付税など)	24万6,000円
パート代 (分担金・負担金・使用料・手数料など)	3万9,000円
親からの援助 (国県支出金)	8万2,000円
家や庭の大きな修繕のための金融機関からの借入 (市債)	2万9,000円
敷地を駐車場として貸している賃料や株・預貯金の利子 (財産収入など)	3,000円
前の月の余剰金 (繰越金)	1万1,000円
<b>合計</b>	<b>41万円</b>

※( )内は会計項目です。  
 ※富士市の決算を月収41万円(年収500万円)の家計に置きかえています。

### 歳入の5割以上は市税

歳入の5割以上は、市民・企業の皆さんに納めていただいた市税です。平成26年度の市税の決算額は約466億円で、前年度に比べて約4億円の増加となりました。これは、一部大手法人の好業績により、法人市民税が約4億円増収となったことが主な要因として挙げられます。

### 歳出は民生費が1位

歳出は、目的別に見ると、福祉関係の費用である民生費が約3割を占め、最も多くなっています。民生費は、少子高齢社会の到来を受け、今後も高水準で推移することが見込まれます。

# 富士市の財政状況

★天印は前年度からの変化です。  
 …前年度から改善されたもの  
 …前年度より悪化したもの

## 一般会計の市債残高

自治体の借金の残高  
 過去最高額は平成8年度末の757億円です。  
 (仮称)教育複合施設建設事業など大型事業の影響により、新規借入額がふえたため、増加しました。

691億円→699億円

## プライマリーバランス基礎的財政収支

市債と繰越金及び基金の取り崩しを除いた歳入と、市債の償還費用と基金積立金を除いた歳出の差  
 好調だった市税収入による歳入の増加を上回る歳出の増加により、黒字額が減少しました。

4.4億円の黒字  
 →1.2億円の黒字

## 実質公債費比率

実質的な公債費(市債の元利償還金)が財政に及ぼす負担をあらわす指標

4.9%→3.8%

18%を超えると、新たな借金は国の許可が必要になります。  
 ロゼンアター建設時の借入金の償還が終了したことなどにより、低下しました。

## 財政力指数

財政の豊かさを示す指標で、国が定めた基準の需要額と収入額の比率

0.986→0.991

1を下回ると国から普通交付税が交付されます。平成11・12年度の減収により、平成24年度から交付団体になっています。

## 将来負担比率

自治体が将来支払う可能性のある負債の収入に対する比率

55.0%→60.2%

市債残高の増加により上昇しましたが、引き続き、早期健全化基準(350%以上)を大きく下回っています。

## 経常収支比率

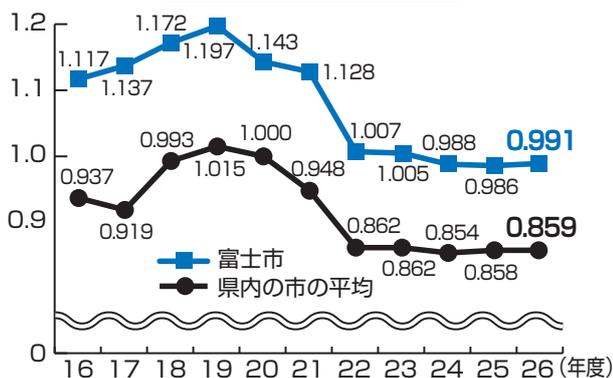
市税など毎年度収入される財源のうち、義務的な経費など、毎年度支出される経費に充てた割合  
 県内の市の平均は、平成26年度で84.8%です。

82.6%→80.5%

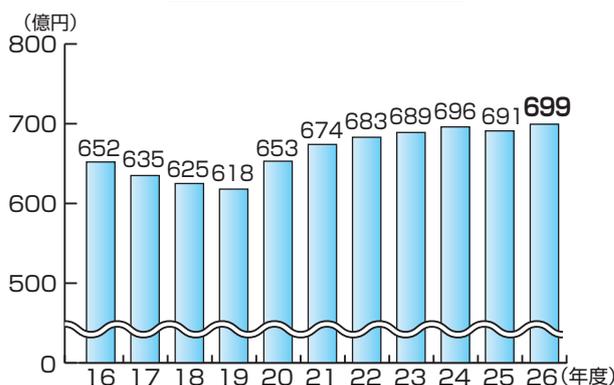
物件費(物品の購入経費など)や扶助費(住民の福祉を支える経費)が増加したものの、補助費(補助金など)や公債費(借金の返済費用)などが減少したため、低下しています。

## 財政状況の推移

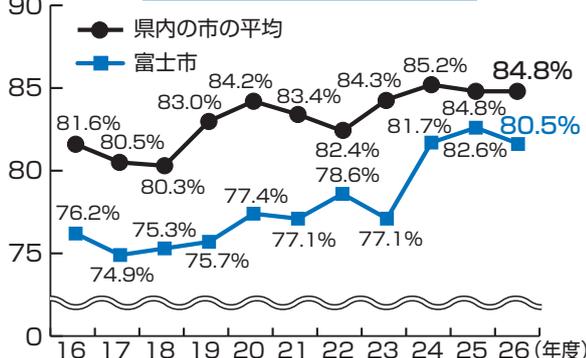
財政力指数の推移



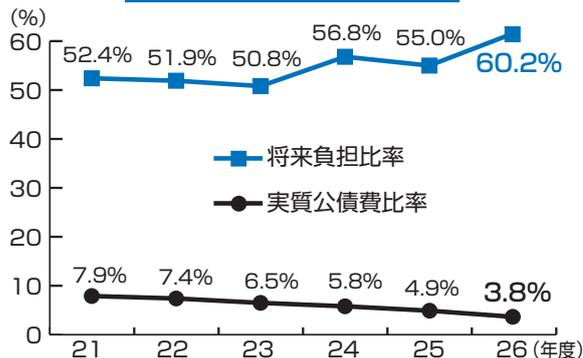
市債残高の推移



経常収支比率の推移



健全化判断比率の推移



# 皆さんの税金はこのように使われています 平成26年度実施事業の一部を紹介

## 民生費

### ●臨時福祉給付金給付事業

4億7781万円

市民税均等割非課税の人が対象  
(均等割課税対象者の扶養親族等  
及び生活保護世帯を除く)。延べ5  
万7901人に給付

### ●児童手当支給事業

44億8759万円

中学校修了前までの子どもが対  
象。延べ41万1584人に支給

### ●子ども医療費助成事業

8億1010万円

中学校修了前までの子ども3万  
5188人が対象。延べ53万21  
35人に助成

### ●私立保育園施設整備助成事業

6億5539万円

認定子ども園を整備する事業者  
に対しての助成など

## 教育費

### ●(仮称)教育複合施設建設事業

11億9801万円

富士市教育プラ  
ザの建設



富士市教育プラザ

### ●岩松小学校校舎改築事業

1億7992万円

### ●富士川第二中学校屋内運動場改築事業

7億2462万円

### ●文化会館施設管理事業

3億3183万円

ロゼシアター小ホール舞台設備  
の改修など

## 土木費

### ●上堀放水路新設事業

1億2418万円

### ●コミュニティバス等運行事業

5057万円

### ●本市場大淵線整備事業

5億9956万円

### ●木造住宅耐震補強事業

1億510万円

耐震補強工事を実施する一般世  
帯及び高齢者世帯などへの助成

### ●若い世代定住促進支援事業

2310万円

若者世帯定住支援奨励金(スミ  
ドキU-40)22件

## 総務費

### ●防犯まちづくり事業

6543万円

防犯用街路灯の設置、維持管理  
経費の町内会に対する助成など

### ●まちづくりセンター運営事業

8億1450万円

26か所あるまち  
づくりセンターの  
運営及び施設管理  
など

### ●富士駅北まちづくりセンター建設事業

7億1568万円



富士駅北まちづくりセンター

## 衛生費

### ●予防接種事業

6億5175万円

4種混合、日本脳炎、インフル  
エンザ、肺炎球菌ワクチンなど

### ●がん検診推進事業

2億8199万円

受診人数延べ7万4866人

### ●浄化槽設置助成事業

1億9987万円

設置数283基

### ●新エネルギー・省エネルギー普及事業

8925万円

太陽光発電設備等を設置する市  
民・中小企業者に対する助成など

## 消防費

### ●消防車両整備事業

1億7163万円

救助工作車の更新(中央消防署  
など)

### ●津波対策事業

942万円

津波避難ビル等整備事業費補助  
金、津波避難誘導看板設置など

### ●防災拠点施設整備事業

1億2991万円

防災拠点施設用地造成など

### ●防災無線整備事業

7510万円

フルデジタル同報無線受信局34  
局の取りかえ

## 商工費

### ●企業立地推進事業

8億3243万円

企業立地促進奨励金66件

### ●シテイプロモーション推進事業

1376万円

「富士山と」運動の推進など

※決算報告について詳しくは、市ウ  
ェブサイトを「ごらんください」。  
★くらしと市政→市政情報→財政→決算

## 【問い合わせ】

財政課

☎(55)272515

☎(53)090909